

市橋小だより

自分大好き 友達大好き 市橋大好き

令和6年5月15日

5月号

岐阜市立市橋小学校

校長 伊藤 泰介

自分大好き・友達大好き・市橋大好き

～全国学力・学習状況調査（質問紙調査）から～

①自分大好き、②友だち大好き、③市橋大好きの視点から、それぞれ2問を抽出して、過去3年間の結果と今年度の結果（自校採点）を比べてみました。

※いずれも「当てはまる」と回答した児童の割合

①どちらの質問も「当てはまる」と回答する児童の割合が最多です。

「先生がよいところを認めてくれる」と思っている子どもほど「自分によいところがある」と思っているという調査結果（R5全国・学習状況調査）があります。

今後もよさを認める場面を大切にしていきます。

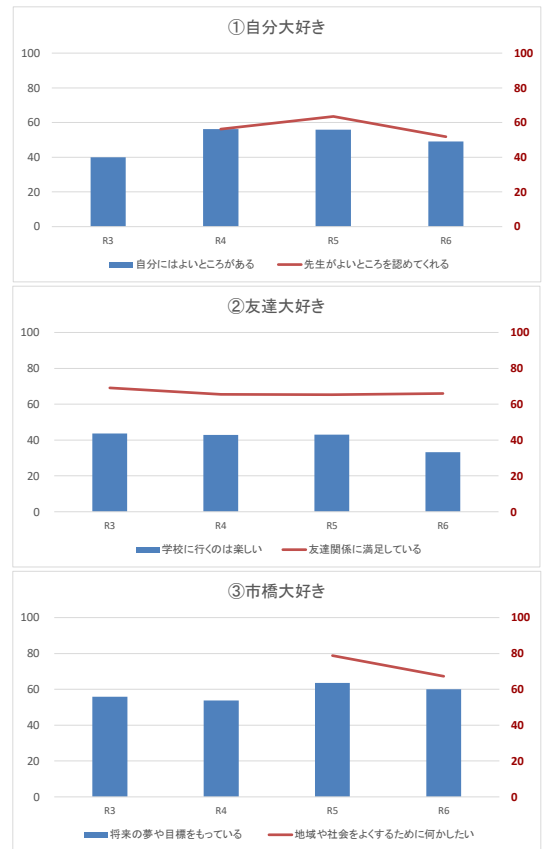
②友達関係に満足している子どもの割合が継続して高くなっている一方で、学校が楽しいと感じている子どもの割合が比較的低い傾向があります。

「授業が自分にあっている」と思っている子どもほど「学校に行くのが楽しい」と思っているという調査結果があります。

一人一人に合わせた授業づくりに心掛けていきます。

③多くの子どもが、将来の夢や目標をもっており、地域や社会のために何かしたいと思っています。

地域行事への参加や地域教材を用いた学習活動を、子どもの「生き方」につなげる指導を心掛けていきます。



発明工夫展

山口裕大さん（6年）が、発明くふう展で「内閣総理大臣賞」を受賞し、岐阜市長に報告をしました。

身近な課題について、解決方法を模索し、実験を繰り返したことと思います。もっと詳しく知ろうとする「考える子」の姿ですね。

かがやき賞

学校内外で活躍する市橋小学校の友達をお昼の放送で紹介しています。

クラブチームでの活動や習い事の発表会など、「かがやき」の姿を教えてください。

ダブルダッチ

加藤和さん（5年）が、ダブルダッチコンテストジャパンで「スピード種目」優勝、「パフォーマンス種目」3位となりました。

より高い目標を目指して、仲間とよさを認め合う「協力する子」の姿ですね。